

# 学ぶ楽しさ

## オイコノミア お世話になっています！ 宅配の経済学

放送日：2018年2月21日 放送時間：43分



対象校種 中学校 高校

対象教科 社会 商業

### この番組の良さ

#### ● 未来の物流が見える

オイコノミアは、お笑い芸人で小説家でもある又吉さんが、身近な話題や事象を経済の視点から捉え、コメンテーターやお笑い芸人たちのトークを交え、経済を分かりやすく解説する番組です。

今回は宅配をテーマとして、宅配業界が抱える課題や未来の宅配などについて解説しています。

ドローンによる宅配や自動運転の宅配車など、未来がすぐそこまで来ていることを実感でき、未来の私たちの生活を考える教材として最適です。

#### ● 視聴者を飽きさせない番組構成

番組では、グラフや関連映像など視覚に訴える資料もたくさん使用しています。また、ドラマ仕立てで宅配に関する疑問を分かりやすく解説したり、ネット通販の経済システムについてフリップ・アニメーションを使って説明したりするなど、とても分かりやすい演出になっています。

視聴する側を飽きさせない工夫・理解しやすい工夫が満載の番組です。フリップについては、この部分だけを取り上げて教材として活用できるでしょう。小学校高学年から高校まで、校種を問わず楽しく経済について学ぶことができる番組です。

### 番組活用のポイント

#### ● 宅配サービスの現状を知り、 宅配の未来を考える

国土交通省によれば、2017年度の宅配便取扱個数は42億5100万個、2018年度は43億701万個にのぼります。取扱個数が増加した要因の一つとして、インターネット通販などの販売サービスの需要拡大が挙げられています。その反面、宅配業界の人員不足、宅配件数全体の2割を占める再配達、トラックの排気ガスによる環境問題、過重労働などが社会問題となっています。

これらの社会問題について、規模の経済や機会費用など踏まえてその解決策を考える学習や、『未来はものを運ぶ仕事はどうなるのか?』などを討議テーマとして学習課題を設定するなど、身近な社会を知ることから経済を考える専門的な学習まで、生徒が主体的に取り組むさまざまな学習活動の展開が期待されます。

#### ● 「あえて急がない宅配」や送料の自由化・ 再配達問題など、業界の抱える問題から 学びを広げる

細かく時間を設定した夜間配達若くは若い世代のライフスタイルに適合することや、全体の約3割が宅配を急がないというアンケート結果が紹介されます。あえて急がない宅配を提案するなど、宅配業界はスピード重視だけでなく、利用者のニーズに合ったサービスを取り入れ始めました。急がないことで作業の平準化が期待できるとも言われています。こういった取り組みが宅配の未来を考えるきっかけとなります。

宅配会社ごとの取り組みを調べてみるのも学びの広がりにつながります。また再配達は大きな社会問題であり、それによる二酸化炭素排出増なども社会的・経済的損失を生むこととなります。配達時間を指定するなど利用者側が意識しなければ、再配達コストがさらにかかり、サービスが維持できなくなることも考えられます。番組と共に、消費者庁の『宅配サービス受取方法の現状と消費者意識』や、国民生活センターの『消費者行動の変化と宅配サービス』、『宅配便の再配達をめぐる現状と課題』などのウェブサイトも教材として活用できます。社会・経済にまつわる問題について、ひとごとでなく自分のこととして問題を捉えることで、消費者・利用者としての意識の向上につながります。



執筆者

大分県立津久見高等学校

指導教諭 森 浩三